

短期入所協力施設(重点施設)のご紹介 Vol.11

社会福祉法人 飛騨慈光会

障害者支援施設 飛騨うりす苑

■施設について

当施設が属す社会福祉法人 飛騨慈光会は、障害者施設5カ所、児童施設4カ所、グループホーム13カ所、地域支援センターなど6カ所の福祉施設を展開する岐阜県飛騨地方の社会福祉法人です。

当施設は、2001年(平成13年)の開設以来、飛騨圏域唯一の身体障害者入所施設として運営してきました。

常時介護を必要とする身体に障害のある方々に施設入所支援、生活介護、短期入所などのサービスを提供しています。施設入所支援は定員52人、生活介護は定員60人、短期入所は定員5人のサービスを提供しています。

当施設の特徴は、診療所を施設内に併設し常勤医師を配置していること、看護師が24時間勤務していることで、喀痰吸引や経管栄養が必要な方もお受けしています。また、理学療法士(2名)、作業療法士(1名)が勤務していますので、入所および通所の方に限られますがリハビリも実施しています。

■在宅療養について

自動車事故による重度後遺障害を負われた方は、非常に長期にわたる在宅療養を余儀なくされてしまいます。

訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなどの医療サービスを受けてはいても、喀痰吸引、体位変換や身の回りの世話など、ご家族の心身両面でのご負担はとて大きいと思います。

長期の療養が続くと、ご本人にも介護をなさるご家族にもますますご負担が増えていきますので、定期的なレスパイトが重要であると思っています。

■短期入所について

当施設は、レスパイトの他にも、急な用事や冠婚葬祭、ご家族の入院など様々な理由による短期入所をご利用いただいています。

初めてのご利用の場合には、ご本人は慣れない環境に適應することが難しく、介護者の方も心配で仕方ないということもあるでしょう。1泊2日からはじめて、環境に慣れるにしたがって徐々に日数を増やしていくことが大切だと感じています。

定期的に短期入所するという習慣がついてくれば、ご本人もご自宅とは違う環境に慣れていきますし、私どもスタッフも状態やご要望などを理解したうえでお迎えできます。また、普段の様子と少しでも違うような場合も、早く気づき適切な対応を行うことができます。

最初に決断するのはとても勇気がいると思いますが、何度もご相談し、見学もしていただき、ご心配な点をひとつずつ解決して、ご要望にも出来るだけお応えしていきながら、初回、2回目、3回目と、定期的な短期入所につなげていくことが大切だと思っています。

■ 継続的なご利用のために

定期的にご利用いただく様になれば、相談事業所とも連携して、毎月決まった曜日でのご利用を調整したり、前月にご希望を伺い日程調整させていただきます。

体調が急変した際にはかかりつけ医による指示のもと、速やかに医療機関に連絡を行う体制を整えています。併せて、短期入所期間中の看護サマリーを活用して、当施設とご家族が同じ情報を共有しながら、より適切で一貫した支援につながられるよう努めてまいります。

ご家族の高齢化など様々な理由で在宅療養が困難になる場合に備えるためにも、短期入所を定期的に行っていたいただき、慣れ親しんだ場所に施設入所することも、将来的には必要になってくるのではないかと考えています。

■ ご利用者様、ご家族をサポートします

当施設は診療所を併設し、24時間看護師が勤務していますので、夜間も医療的な行為に対応可能です。

日常生活支援としての食事や入浴、排せつ支援などの他、季節ごとの行事にも参加いただけるよう支援しています。

皆様からのご相談、ご連絡をお待ちしています。



飛騨うりす苑の皆様(左より)

地域支援主任

施設長補佐・サービス管理責任者

施設長

看護師

熊崎 有氏

中畑 陽介氏

空野 求美氏

谷本 純子氏



■ 所在地:

〒509-4126 岐阜県高山市国府町
瓜巢2000番地1

■ 主なサービス:

短期入所(定員5名)、施設入所支援
(定員52名)、生活介護(定員60名)他

■ 受入対象者:

- 対応可能: 高次脳機能障害、
喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管内)、
経管栄養(胃ろう、腸ろう、
経鼻経管栄養)、気管切開
- 対応不可: 人工呼吸器

■ 問合先

0577-72-1055(平日8:30~17:00)

ご利用者様の声(岐阜県在住N様)

中部療護センターを退院し半年ほど別の病院に入院しましたが、その後は自宅に戻って療養しています。

現在は、訪問診療、訪問看護、訪問リハやデイサービスを利用していますが、その他に短期入院(1~2か月に1回、1回あたり4~5日間)、短期入所(毎月1回、3日間)を利用しています。

飛騨うりす苑には、自宅での様子や注意していただきたいことなどを事前に情報書としてお送りして、対応をお願いしています。短期入所中の状態などは、看護サマリーとして共有してもらっています。

定期的に、短期入院、短期入所することで家族の負担も軽減できています。ナスバからの支援も、本当に有難く感謝しています。